

人生が、余計に難しくなることもある。

『医者には絶対書けない 幸せな死に方』（講談社 + a 新書）の著者で作家のたくきよしみつ氏はこう語る。

「いまの時代、自宅で死ぬる人はわずか。8割の人は病院で死にますが、幸せな死に方はまずさせてもらえません。私の知り合いの70代の男性は、血栓が心臓の動脈に詰ま

り、心停止を起こして倒れました。その後は植物状態でした。それでも検査の結果、足に血栓が溜まり、再び詰まる可能性があるので、医師は片脚切断手術を勧めたのです。

病院から戻ることなく亡くなりました」
前出の高橋氏も続ける。「検査で病気が見つかった結果、手術して苦しむんだったら、僕は苦しむずに死ぬほうを選ぶ。だ

ったら「見つけないほうが幸せ」という考え方もあっていいと思うんです」
検査ばかりして、いつ見つかるともわからない病気に怯えて生きることが、幸せとは言えない。

医者の「過剰診断」で余計に悪くなる人もいる

「念のため」と渡された薬を飲んだため……

本来は必要ない薬

今シーズン、一大ブームを巻き起こした薬がある。インフルエンザ薬のゾフルーザ（以下、太字は商品名）だ。1回飲むだけで治るといふ触れ込みから、病院で処方された患者もいるだろう。し

かし、ゾフルーザは熱を下げるだけで、インフルエンザの特効薬ではない。当然、医師はそれを知っている。ところが「念のため」と言われ飲んだところ……悲惨な目にあった人もいる。

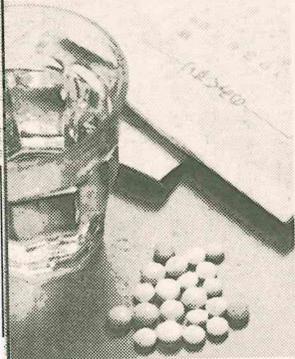
「ゾフルーザを飲んでから、1週間ほどひどい下痢が続いて『これなら熱があるほうが、まだマシだった』という患者さんもいたと聞きます。この薬はまだ副作用が判明していない段階にもかかわらず、『1回の服用で済む』という売り文句で一

気に広まってしまった。他の副作用がこれから出てくる可能性もあります」（クリニック徳院長の高橋徳氏）
実際、ゾフルーザを飲んで血便や鼻血を訴える人が複数出たため、3月1日、厚生労働省は急遽「出血」の副作用を追記

するよう製造元の塩野義製薬に指示した。
そもそもインフルエンザは風邪と同じで安静にしていけば治る。にもかかわらず、このように本来必要ない薬を「念のため」と渡され、副作用に苦しむ例は枚挙にいとまがない。

「死ぬまで幸せに」
でも、どうやって？

「糖尿病でSU薬（アマ
リール）を飲んでいたの
ですが、最近、食生活が
乱れていると話すと、じ
ゃあこの薬も追加しまし
ようとジベトス（糖尿病
薬）を渡された。併用し
たことで低血糖になり、
吐き気や倦怠感に悩まさ
れた」（60代男性）
「胃炎で病院を訪れたと
ころ『大したことないで
すが、痛みが治まらない
ときのために出しときま
しょう』と言われ、ダク
チルという胃腸薬を渡さ
れました。飲むと頭痛が
ひどくなり、別の病院で
調べたところ持病の緑内
障が悪化していることが
判明。添付文書を読むと
眼圧を上げる副作用が書
かれていましたが、事前
には教えてくれませんで
した」（70代女性）
「眠れないからと睡眠薬
をもらったら『もしかし
たらうつかもしれないか
ら』と抗うつ薬のパキシ
ルも一緒に処方された。
併用すると元気がなくな



患者から、ちよつと関
節が痛むと言われると、
安易に鎮痛剤を出す医者
も多い。
「神経痛を抑えるリリカ
という薬があります。こ
の薬は本来、神経内科の

医者は何でも病気にする

り、気力までなくなつて
しまった」（50代男性）
医者「過剰診断」で
余計に体調が悪くなる薬
として、永寿総合病院・
総合内科主任部長の池田
啓浩氏はバイアスピリン
を挙げる。
「最近、頭痛がするとい
う患者さんがCT（コン
ピュータ断層撮影）を撮
ると、脳に小さな血栓が
詰まるラクナ梗塞が見つ
かる場合があります。ほ
とんどの場合、命にはか

かわらないのですが、中
には脳梗塞を起こすかも
しれないので『念のため』
と言ってバイアスピリン
を出す医師がいます。こ
の薬は血が止まりにくく
なるので、緊急の手術や
抜歯ができないといった
デメリットがあり、適応
のない人に予防的に使う
のはお勧めしません」
長期的に飲むと胃潰瘍
や消化管出血、喘息発作
などの副作用を起こすこ
ともある。

専門医が使う薬なので
が、案外簡単に処方され
てしまっている。なぜな
ら神経痛に効く薬がほと
んどないから。ただし、
その一方でリリカには、
めまいや眠気による転倒
など副作用も多い。ちゃ
んと神経痛の診断がつい
ていればまだしも、軽い
気持ちで処方していい薬
ではありません。
ちなみに、糖尿病によ

り末梢神経に痛みが出て
いる場合、リリカを飲む
と66%の確率で副作用が
出現することが添付文書
に明記されています」（池
田氏）

コレステロールの薬も
「とりあえず」で出され
やすい薬の一つ。
「いわゆるスタチン薬
（クレストール、リパロな
ど）ですね。いまのコレ
ステロール値の基準は2
20以下なので、それを
少しでも超えると、つい
でに薬で下げてください
ようとなる。でも高齢者
になれば、240〜25
0くらいの方が一番長生
きするんです。コレステ
ロールは細胞膜やホルモ
ンを作る大切な要素です
から」（前出・高橋氏）
スタチン薬は、最初は
問題なくても飲み続けて
いると手足のしびれや筋
肉痛といった副作用（横
紋筋融解）が出てくるこ
とがある。医師ならだれ
でも知っていることだ。
それでも医者が薬を出

したがるのはなぜか。長
尾クリニック院長の長尾
和宏氏が語る。

「多くの医者は薬に支配
されています。その結果、
何でも病気にしてしま
う。昔は胸やけだったのが、
いまでは逆流性食道炎と
なる。お腹の具合がちょ
つと悪いと機能性胃腸
症、物忘れは認知症とい
った具合に、調子が悪い
と全部『〇〇症』になっ
て、薬が出てくる。こう
して過剰医療になること
が少なくありません。」

薬を出す場合は、まず
1剤が基本なのに、万が
一に備えて、あれもこれ
も出しておく。たとえば
年齢を重ねれば、誰でも
慢性心不全傾向になりま
す。ところが診療ガイド
ラインに従えば、5つク
らいすぐ薬が出てしま
う」

前出の池田氏は「医療
現場は不安と不安のぶつ
かり合い」と語る。
「患者さんが不安なよう
に、医者も『もし薬を出

さずには何かあったらどうしよう」と不安になるもの。それなら薬を出しておこうとなるわけです。患者さんから「欲しい」と言われれば、よほど危険な薬でない限り、たい

ていの医者を出すでしょう。外来で説明する時間がないのもありますが、いまの時代、ネットに「あそこは薬も出さないヤブ医者だ」と書き込まれ、病院の評判が落ちるのも

嫌ですからね」
もちろん薬なのだから効果と引き換えに副作用があるのはわかる。だが「念のため渡す」「一応出しておく」といったくらの状態で、本来不必要

な薬を飲み、副作用で別の病気に苦しむのはあまりに馬鹿げている。
ましてや、自分から医者者に「不安なので薬をください」と申し出ていた場合は、泣くに泣けない。

堀さんのかかりつけの歯科医や、持病のリウマチの主治医など、複数の医師が誤診した。大病院で正しく診断された時には、口内炎の発症から約半年が経過していた。どうして、これほどまでに見逃されたのか。

口内炎が始まりだというなら

堀ちえみさんの舌がんに思う

何度も検査したのに

〈手術直後は、壮絶な痛み、苦しみ、辛さに、心が折れてしまいそうになりました〉

先月、ステージ4の「舌がん」であると発表した堀ちえみさん。舌の6割を切除し、あわせて、大腿部の組織を舌に移植す

る再建手術、首のリンパ節に転移したがんの切除も行った。手術は無事に成功したが、悲痛な胸中を、自身のブログで冒頭のように綴った。
11時間に及ぶ手術を要したその病魔は、身近なところから訪れたという。

〈最初は昨年夏頃に、舌の裏側に小さい口内炎ができました〉

はじめは、ただの口内炎だと思っていたものが、実は舌がんだったのだ。

総合東京病院口腔癌センター長の小村健氏が解説する。

「舌がんは、口腔がんという口の中にできるがん



再び笑顔を取り戻す日まで

の一種で、全国で年間約4000人、罹患していると推定されます。虫歯で欠けた歯や、合わない義歯、悪い歯並びを放置して、慢性的にできた傷、および喫煙・飲酒などによって引き起こされます」
発症例は多くはなく、「希少がん」に類される舌がん。その珍しさから、

誤診に基づくと誤った治療を続けたため、がんはステージ4にまで進行した。舌がんは早期に発見すれば根治も可能で、術後の生活も大きく変わる。北海道がんセンター名誉院長の西尾正道氏が語る。「早期のがんであれば、放射線治療が可能です。放射線を照射する針を5日程度入れれば、95%以上の確率で治ります」
実際、初期段階の舌が

「絶対、不幸になる」「好きな人と一緒になるのが幸せ」「貧乏は大変」「貧乏でも幸せになれる」

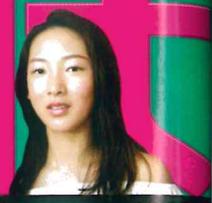
国民的大議論 眞子さまと小室さん 結婚させるべき、させないべき

紅白歌合戦80.6% 水前寺清子「ありがとう」56.3% 朝ドラ「藍より青く」53.3%

1972年、家族みんなで見っていたテレビ番組

袋とじ「あまちゃん」女優 渡辺万美、再び! カラー 美女ゴルファー 松田鈴英

週刊現代



愛犬・愛猫がかわいそう

発がん性があるドッグフード・キャットフード

特別定価 480円
23
Weekly Gendai
2019
March

樹木希林さんから何を学ぶか

『ポツンと一軒家』の幸せを考えてみた
大型連載スタート 日本 nett 産業を作った男の数奇な運命を辿る
なりもの——ヤフー・井上雅博伝 森功

本家本元「人生最期の総力戦」第12弾

実は一番怖いのは兄弟姉妹、義父義母、姪っ子甥っ子、従兄弟

親戚に財産を取られないための 「死後の手続き」と「事前の準備」

遺言書を書くのは必須。それだけでなく…

「おひとりさま」と「子供がいない夫婦」
死ぬ前にこれだけは準備したほうがいい

気をつけましょう。医者「過剰診断」と病院「過剰検査」

「念のため」と渡された薬を飲んだために

病気を見つけない幸せもある なんでもかんでも調べればいいというものではない

堀ちえみさんの舌がんに思う 口内炎が始まりというなら